

会報

太陽の会

お大師様のことば(第45回)

「成功を目指し努力する人が

はまりやすい落とし穴とは」

「衆生が悟りを得られないのは、名聞名利ばかりを求める心にある。自分は他人に従いたいとは思わず、ただ人を従えさせようと思つてゐる」



〔五部陀羅尼問答偈讚宗秘論〕

●名譽や地位を求める向上心は大切だが

お大師様が指摘している名聞名利ばかり求める心とは、貪りの心であり満足を知らない欲望のことです。

仏教では、人々を迷わせ悟りへの妨げになる煩惱の中で、もつとも基本的なものは、三毒である貪(とん・むさぼり)・瞋(じん・いかり)・癡(ち・おろか)に、慢(まん・まんしん)と疑(ぎ・うたがい)をくわえた五つありますが、これらはいずれも人間の精神作用をあらわしています。どんな人も持つてゐる心の動きです。

貪りの対象はさまざまなものがありますが、お大師様は「名聞名利」としての地位や名譽をあげています。しかし、現在よりも高い地位につきたい、名譽を勝ち取りたいと努力することは、決して悪いことではありません。最近では、責任をともなう立場には就きたくない、気楽に自分だけの仕事をやっていいという人も増えているようですが、やはり人は誰でもどこかで皆から認めてもらいたい、より影響力のある立場で自分を発揮したいと思つてゐるはずです。しかし、そこに落とし穴が口を開けて待つてゐるのです。

●「人を従わせる」という姿勢では失敗する

「あれだけ能力があつて仕事もできるのに…」といわれながら、会社や組織からはみ出してしまった人がよくいます。力があり個性的な人を認めない日本社会の狭量さにその理由があるともいわれますが、それだけではありません。ことは、もつと人間の本質に関わることだと、お大師様は言つてゐるのです。

他人を自分に従えさせたいとい

う思いは結局のところ「煩惱」であることを知らなければいけません。他人を完全に従わせる」とは、人間の本性からしてどだい無理な話なのです。そのことをはつきり認めようとせず従わせようとばかりすると、一時は成功したように見えても、少し長い目でみれば、ことごとく失敗するに違ひありません。



社会的に決められた地位の上下のみに神経質になり、あの人は上、あいつは自分以下だと、いつも上下関係でしか考えられないような生き方のどこに安心があるでしょうか。自分を大事にするのと同様、相手が地位の高い上司であれ、まだ小さい子供であれ人間として大事にしていくその中に、そ、人と人との実り豊かな関係が生まれてくるのです。



空海のことば(池口惠觀書より)

供養祭の「報告」



令和7年3月29日(土)
コスモガーデン西大寺
第2太陽霊園



令和7年3月15日(土)
新安佐太陽霊園



令和7年3月30日(日)
コスモガーデン倉敷



令和7年4月19日(土)
高松太陽霊園



令和7年4月5日(土)
児島太陽霊園



令和7年5月18日(日)
北神戸太陽霊園



天候等により日程が変更することがあります。その際は、現地に看板を設置しますのでご確認ください。



11月16日(日)	11月18日(土)	10月19日(日)	9月22日(月)	8月13日(水)
海田太陽霊園	北道後太陽霊園	午前 (浄土真宗)	午前 (浄土真宗)	高天原
金甲山太陽霊園	午後 (真言宗)	午後 (真言宗)	午後 (真言宗)	

今年も供養祭を開催いたします。左記に後期日程を記載しておりますので、ご確認下さい。

詳細は、期日が近づきましたら案内ハガキを送付致します。
※高天原については、案内ハガキは送付しません(1ヶ月前に、玄関にご案内を貼りますので、ご確認下さい)。

令和7年後期供養祭予定

法話



お彼岸についてお話をさせて頂きます。皆さんご存じのよう春と秋、春分の日・秋分の日の前後3日を加えた7日間のことをお彼岸と言いますね。春分と秋分の日は、太陽の動きを天文台が調べて、年ごとに決定するものなので、必ず決まった日というわけではないです。今年の春分の日が、3月20日なので、17日から23日となります。

お彼岸など「お墓参り」や「先祖供養」を思い浮かべると思いますが、実は仏教の生まれたインドや日本へ仏教を伝えた中国には、お彼岸というものはありません。日本独自の習慣・文化になります。

彼岸とは、彼(か)の岸と書き、冥土世界のことです。苦しみの無い安らかな悟りの世界です。逆に私たちがいる世界は、此岸(しがん)。生老病死や悩み、欲で四苦八苦の世界です。

彼岸に渡るまたは彼岸に至るということは、欲を無くし悟りの世界へ行く。つまり悟りを得るということです。僧侶の最終目的は、悟ることなのですが、この「彼岸に至る」

「ラミタ」と言います。漢字にすると「波羅蜜多(はらみつた)」。この漢字は、音写で漢字に意味はないのですが、「はらみつた」には覚えがありませんか。先程一緒に唱えて頂いた「般若心経」にも「はんにやはらみつた」と登場いたします。

先程、日本独自のものと申しましたが、何も無いところからお墓参りの日としたわけではなくて、お彼岸は仏教との繋がりの中で生まれたものです。

春分・秋分の日は、太陽が真東から昇り、真西へ沈みます。これを日本人は特別なことだと捉えたんですね。仏教が伝わる以前から自然や太陽を先祖が敬う気持ちを持つ日本人の心と仏教への信仰心が重なつたともいいましょうか。また、西と言えば西方極楽浄土があるとされていますし、特別感は増しますね。

同じ先祖供養でも、お盆とお彼岸は少し意味合いが異なります。お盆は「先祖様が帰つて来てくれるイメージですが、お彼岸は、私たちが歩み寄り、思いをはせて手を合わせるといった感じですね。

(新安佐供養祭法話より)

事務局だより



墓地周辺山林火災防止への協力のお願い

岡山市南区にて、三月二二十三日に山火事が発生し、鎮火に随分日数がかかりました。山林火災の原因になりうる一つとして、お墓にお供えした線香の火が強風で飛ばされ、落ち葉や周囲の山に燃え移る危険性が考えられます。

これまで墓地周辺ではこのような事例は確認されていませんでしたが、近隣で発生した以上、私たちも十分な注意を払う必要があります。

お墓参りの際は、特に風の強い日は線香の火が飛ばないよう十分ご注意ください。どうしても線香をお供えする場合は、火を見守ることができる時間の範囲内でお供えし、お帰りの時には必ず火を消してくださいようお願いいたします。

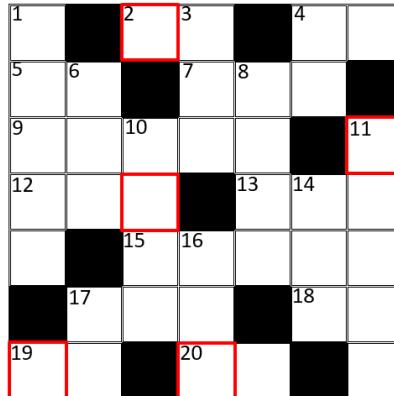


クロスワードパズルにチャレンジ!

ヒントを元に、マスに言葉を当てはめてください・赤枠に入る文字を並べて出来る

5 文字の言葉はなんでしょう?

ヒント★「どもの日に食べるもの



- 【たてのかぎ】**
- 1 でしやばつて余計な世話をやくこと。
2 自分の生まれた家。
3 人や動物がのどから出す音。
4 自分を支えてくれる仲間。
5 戰争や試合など。

能力などの一段階。「○○○○上手」
国が定めた祝いの日。
するどい歯を持つイルカの仲間。

夏、球体の大きな実を付ける、果物。



17 石がくだけてできた細かいつぶ。



【よのかぎ】

言葉を書き表すために点・線などで作った記号。

非常に細かく書いたもの。粉末。
夏に木にとまつて大きな声で鳴く虫。

昔から口づてに伝えられてきた事柄。

【言い○○○】

使用する方法。

見ることや触ることができるもの姿。

【山の美しい○○○】

歌うことを職業にしている人。

痛みの感覚を麻痺させる薬。

一定の基準から測った水面の高さ。

都道府県の行政を統括・代表する長。

鳥やけものをとらえる仕掛け。

人をおとしいれるばかりのこと。

石灰質のからを持つ軟体生物の総称。



赤枠の5文字を並べて出来た言葉を記入

して、下記宛先までご応募ください。

正解された方の中から抽選で景品をご用

意しておりますのでお楽しみに！

【締切】令和7年8月末日(当日消印有効)

【第127号の答え】

たくさんのご応募ありがとうございました。第127号の

答えは『ヒナマツリ』

でした。皆さんいかがでしたか?



【当選者の発表】

岡山市 本名 様 倉敷市 善本 様
福山市 西原 様 広島市 成田 様
広島市 中岡 様

以上5名様、ご当選おめでとうございました。当選された方には、「高級そうめん」をお送りしました。

〒700-0942
(宗) 円蔵院太陽の会
岡山事務局会
クイズ係
行

85

・クイズの答え
赤枠の文字を並べて出来た5文字の言葉を記入してお送りください。
・今回の良かった記事
・掲載を希望する記事
・ご意見ご感想
〒 住所
電話番号
会員番号
氏名 年齢